



発行：土浦市教育委員会 生涯学習課（ウララ2ビル7階）

TEL 826-1111(内線 5161) Mail syougaigakusyuu@city.tsuchiura.lg.jp

新型コロナウイルス感染症の位置付けが変わったことなどを受け、わたしたちの生活も少しずつコロナ前の状況に戻りつつあります。令和2～3年度に活動を行うことができなかった本市の家庭教育学級の学習活動も、令和4年度は実施することができました。そこで本号では、令和4年度の家庭教育学級の活動の一部を紹介します。また、親の声かけの大切さ、アフターコロナに充実させたい体験活動についての情報を掲載しました。子どもの育ちを支える働きかけについて、一緒に考えてみませんか。

家庭教育学級の活動紹介

家庭教育は、すべての教育の出発点です。家族のふれあいを通して、子どもが基本的生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりの心や基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーを身につけていく上で、重要な役割を果たしています。

そこで土浦市では、市立の小学校・義務教育学校前期課程の保護者の皆様が各学校に家庭教育学級を組織し、子育てをする親同士で、望ましい家庭教育のあり方について学びながら、仲間としてのつながりを深めています。

ここでは、令和4年度の取組の一部を紹介します。



◇子どものやる気を引き出す言葉かけ

日本親子コーチング協会・黒木 教子 先生

「子どもにかける言葉を意識的に変えることで、自己肯定感を上げたり、自分で考えて行動できるように成長したりするというお話に、自分自身を振り返るよい機会となりました。」

◇おいしく楽しい食生活 ～子どもの元気ごはん編～

市健康増進課・いきいき出前講座

「給食が、栄養バランスの上でとても参考になることや、家庭だけではなかなか補えない栄養群も接種できることなど、給食の大切さ、ありがたさを実感しました。」

◇親と子のダンスでコミュニケーション

DASインストラクター・佐々木 翔平 先生

「子どもたちも保護者も、笑顔で楽しくダンスをすることができました。また、親子で楽しくダンスをして、たくさんのコミュニケーションをとることができ、有意義な時間を過ごすことができました。」

◇勇気づけアドラー心理学

心理カウンセラー・長谷 静香 先生

「普段、何気なくしていたことでも、自分の対応を少し変えるだけで、子どもとより向き合えるのだなと気づけました。」

◇守れ！大事な命 救急講習

消防士・松浦 真 先生・岡田 航平 先生

「消防士の方が丁寧にわかりやすく実演してくれて、いざという時の心構えができました。」

特集1 「おはよう」「あいがとう」、親が手本を！

友だちとの関わりを通して、互いの思いや考えなどを共有し、それらの実現に向けて、工夫したり、協力したりして、充実感を味わいながらやり遂げるようになることが大切だと考えられています。コミュニケーションの力を高めるために、まずは親からあいさつをすることで、子どもに手本を見せましょう。

「おはよう」は いいひになあれの おまじない

「あいがとう」うれしいことばを つたえよう いばらきっ子 わが家のおやくそく8か条より

☆親子でスキルアップ☆

親から子へのあいさつの効果を高める、プラス1の言葉を考えてみましょう。

〔練習1〕目が覚めるプラス1 「おはよう！ _____」

〔練習2〕元気が出るプラス1 「いってらっしゃい！ _____」

〔練習3〕安心できるプラス1 「おかえり！ _____」

〔練習4〕快眠できるプラス1 「おやすみ！ _____」

茨城県教育委員会「子育てアドバイスブック クローバー」p15、21 より

特集2 自然体験・社会体験活動のすすめ

現代の子どもたちは物理的な豊かさを享受し、あふれるばかりの情報の中で生活しています。一方、自然との関わりや生活体験、広い意味での人間関係や冒険心などを育む機会が少なくなっていると言われています。

さまざまな体験を通して、自ら学び、考え、行動することのできる資質や能力などを培うとともに、集団の一員である自分を実感したり、他者への思いやりの心や規範意識を育んだりします。

子どもの頃の「自然体験」が豊富な人は
「人間関係能力」が高まりやすい。

〔自然体験〕

- ・海や川で貝を採ったり、魚を釣ったりする。
- ・海や川で泳ぐ。
- ・太陽が昇るところや沈むところを見る。
- ・夜空いっぱいの輝く星をゆっくり見る。

〔人間関係能力〕

- ・人前で緊張せずに自己紹介ができる。
- ・けんかをした友達を仲直りさせる。
- ・初めて会った人とでもすぐに話ができる。

「友達との遊び」「地域活動への参加」が豊富な人は
「規範意識」「意欲・関心」が高い人が多い。

家族で出かけるハイキング、家族以外の大人や異年齢の子どもたちと触れあうことができる地域で実施される活動への参加は、子どもたちの健やかな成長を後押しします。

体験する中では、いろいろな失敗をすることもかもしれません。ですが、失敗を重ねる中で、学び、工夫して、子どもは生きるための知恵を習得していきます。

茨城県教育委員会「家庭教育ブック つばさ」p9 より

家庭教育を支援する、茨城県の取り組みをご紹介します

【家庭教育応援ナビ】

【公式ツイッター】

